交野の未来をいっしょに語り合う

ニュースレター

vol2

第2回 市民ワークショップ

~良いところ、残念なところから、 交野がどんなまちになったら良いか考えましょう!~

とき:令和3年(2021年)10月30日(土)

ところ:交野市役所別館 3F 中会議室 ◆ 次 第 ◆

- 1 本日のプログラムの概要説明
- 2 テーブルワーク
- (1) 内容の説明
- (2) テーブルワーク
- 3 今後の予定



当日の会場の様子

第2回は26人の方にご出席いただきました。

◆第2回市民ワークショップの内容

1 本日のプログラムの概要説明

○ 全体プログラム及び本日のプログラムの内容を説明しました。

2 テーブルワーク

- 前回の振り返り(良いところ、残念なところの復習)をしました。
- 各班で「交野がどんなまちになったら良いか」を考え、とりまとめた内容を発表しました。

ステップ1

・良いところ、残念なところから、交野がどんなまちになったら良いか考えましょう!



ステップ 2

・各班の内容を発表しましょう!

○ 交野がどんなまちになったら良いかについて、「自然、公園」、「農業」、「防犯、防災」、「子育て、教育」、「福祉、助け合い」、「交通、道路」、「にぎわい、交流」、「情報発信」などキーワードが多く出ました。

班	交野がどんなまちになったら良いか
A班	【防犯・防災】
	・ 犯罪が少ない。
	・ 高齢者が心配しないで暮らせるまち。
	【自然・景観】
	- 自然に身近にふれられる。
	・ 自然×X(エックス)=新しい何か
	・ まちの景観を守り、住みたいまちと思える環境。
	・ 住宅の近くに自然が残っているまち。
	_【子育て】
	・ 子育て世代が借りやすい公共の部屋を増す。
	ショッピングセンターなどに子育て支援できる要素があればいい。(一時保育など)
	・ 共働きでも子育てに不安を感じないまち。
	【公園・スポーツ】
	公園が多い。
	・ プロスポーツチームを誘致する。
	フットサルができる大きな広場があったらいい。
	【教育】
	・ 地域に開かれた学校。
	・ 大学を誘致する。
	子どもたちが楽しく学び、遊べるまち。
	【地域コミュニティ】
	・ つながりをいつも感じるまち。
	全市的なイベントがたくさんある。
	・ 年代を越えて市民が気軽に話せるまち。
	・ 市民と市役所のコミュニケーションのとれたまち。
	・ 人とのつながりを感じる。
	・ 地区をまたいで施設を借りることができる。
	・ 自治会館が活用できるまち。
	市民同士でコミュニケーションのとれるまち。
	・ お祭りが盛り上がる。
	・ 地域差のないまち。
	【公共交通】
	・ 交通機関にストレスなく利用できるまち。
	・ 駅に着いて「交野」らしさがわかるまち。
	・ 駅などトイレがきれい。

班	交野がどんなまちになったら良いか
	【魅力発信(市→市外)】
	・ 道の駅がある。
	・ 名産品がある。
	・ 誰でも交野の名所・名産が話せるまち。
	地元のお店の情報がよりわかるツールがあればいい。
	・ お水や神宮司ぶどうなど、地元のよいものを発信できるものがあればいい。
	・ 市外の人から見て行きたくなる魅力を発信。
	若者が来たく(住みたく)なるまち。
	・ おしゃれなお店たくさん。
	・ 自然の豊かさを市内外に示せるまち。
	・ ベンチャー企業が集まる。
	・ 映えスポットをつくる。
	・ 休憩スポットも充実しているまち。
	・ 交野の歴史を市民すべてが誇れるまち。
	【情報発信(市→市民)】
	・ 子どもから年寄りまで、情報がすぐ伝わるまち。
	・ 市民が必要な情報はいち早く伝わる。
	【その他】
	・ 静かなまち。(うるさくない)
	・ わかりやすい自転車置き場。
	【追加意見】(欠席された方からいただいた意見)
	・ 市民憲章「和」が根っこにある
	・ アメリカのポートランドみたいな街づくり
	・ 自然とまちが調和している
	地域が繋がっている
	・ お水が美味しい
	・ アウトドアのまち交野
B班	【教育・環境】
	・教育環境の充実。
	・ 図書館の充実。きれいに、おしゃれに。
	・・施設老朽化の維持。
	【農業】
	・ 校舎を活用して室内栽培。
	・ 交野の農産物を使ったカフェ。
	・農家と地域住民の調和。
	・ 農地。農業と調和。

班	交野がどんなまちになったら良いか
	- 道の駅。
	・ アンテナショップをつくる。
	【道】
	・ 電柱のない道路。安全に歩きたい。
	・ 歩きやすい道。
	・ 自転車専用の道がある。
	【交通】
	観光地までのアクセスを良くする。
	・ アクセスが良いまち。※職場への
	・ 自転車をもっと便利に。
	・ 電車以外の交通手段。
	観光後にふらっと寄れるところ。
	【公園】
	・ 小学校または中学校の跡地を公園にする。プラス建物(校舎)も活用する。
	・ 大きい公園で子どもが集まり、にぎわいがある。
	【雰囲気】
	まちの空気が穏やか。
	・ 電柱の明かりが明るすぎる。
	【自然】
	・ 川の掃除、川のごみ。
	・ 川辺、水場、遊び場。
	【空き資産の活用】
	・ 一つ一つの空き家を大切に。
	・ リタイアした人向けエリア。農泊?傍示 etc。※農業したい人向け
	【追加意見】(欠席された方からいただいた意見)
	環境:幼児が安全に遊べる小規模公園を増やし整備 等
	経済・雇用:地元産品6次産業化による生産、加工、販売が拡大 等
	市民生活:高速大容量通信ネットワークを活かしたオンライン診療や介護 等
	まちづくり:福祉、教育、子育て等目的別市民組織の組成と活動 等
C班	【住民にとっての交通環境】
	・ 市内を回る無料バス。
	・ 道が広い。(安全な道づくり)
	アクセスが良い。
	・ 徒歩圏内である程度完結するまちがよい。
	【防犯(安心・安全)】
	・安全な公園が多い。

班	交野がどんなまちになったら良いか
	・ 空き家が少ない。
	・ 夜道が明るい。
	・ 地域の見守り体制が整っているまち。
	・ 安全性の高いまち。
	【若者でにぎわう】
	・ 大学等の教育施設があるまち。
	・ 子どもの遊び場(公園以外)があるまち。
	【高齢者とのつながり・交流】
	・ 70 歳以上の方にやさしいまち。
	・ 高齢者とあらゆる世代が情報を共有できるまち。
	・ 高齢者とあらゆる世代がともに行う活動が多いまち。
	【子育て世代が住みやすい】
	・ 若い世代が多い方がいい。
	・ シングルマザーに来てもらう。
	ボール遊びできるところがほしい。
	・ 中学生までの生活補助。
	・ 新しいものを取り入れる風土のあるまち。
	・ 広い家が建てやすいまち。
	・ ファミレスなど飲食店が多い。
	【市民活動】
	・ 趣味で集まれる場所。(あらゆる人が)
	・ 祭りや地域イベントなど、参加したい人が積極的に集まれる環境。
	・ おりひめ大学など、市民の活動拡大。(PRの仕方)
	・ 地域だけでなく、市民全体で取り組む活動が多い。
	【働きやすさ】
	・ テレワークしやすいまち。
	【観光資源・施設の充実】
	・ 観光地が多い。
	• 観光農園(市営)
	・ アウトドアに特化したまち。
	【産業・商業によるにぎわいがあるまち】
	・ 産業がある程度ある方がよい。
	・ 地元企業の活性化。(働く場所が多い)
	・ 商店街がにぎわってほしい。
	・ 駅前がにぎわっているまち。
	個人商店の活発なまち。(実験的な店舗(地元の素材))

班	交野がどんなまちになったら良いか
	【美しいまち】
	・ きれいなまち。(ごみが少ない)
	景観の美しいまち。(景観の整理、フィールドワーク)
	【自然を感じる】
	・ 田畑を身近に感じる。(保全の仕組みをつくる)
	・ 自然の保全。
	・ 自然とふれあえる。
	・ 小学校の農業体験。
	【住民の家計にやさしい】
	・ 安いスーパーがほしい。
	・ 生活費が安いまち。
	【その他】
	・ 強制と過干渉をしない近所づきあいができるまち。
	・ 市民に必要な情報が行き届くまち。
D班	【子育て】
	ボール遊びが気軽にできる公園があれば。
	・ 散歩で行ける距離に公園がある。
	・ 教育キャンプ場の復活。(ほうじの里)
	・ 子どもの遊び場が多い。公園、自然。
	【子育て・教育への補助】
	・ 保育園など、入りたいところへ入りたい。
	・保育料、給食が無料。
	・ 高校生まで給食。
	・ 学びの手厚い保障。
	• 義務教育以降も無料。
	【福祉のお金】
	医療費がかからなければ。
	・ 社会的弱者に優しいまち。
	【つながり・場】
	困ったことをみんなでサポート、助け合えるまち。
	まちの「困った」をコーディネートしてくれる仕組みがある。
	やりたい人とやってほしい人のマッチングがしやすいまち。
	・ かたののまちコンシェルジュ。
	交野特別環境税のあるまち。
	・ 情報網でつながっているまち。
	・ 寄り添った相談ができるまち。

・ 必要な情報や気になる	ふる情報がネットを調べたら出てくれば。
・多くの人が学校活用	目している。
リアルとネット情報	最をつなげるまち。
・市民が自分の強みを	とまちづくりに生かすことができるまち。
人のつながり。	
・世代を超えて交流	できる場所。
自然が多い。誰が	する、みんなが守る。
【まち歩きがしたくなる	まち】
・ 古民家の活用。	
守る。	
・ 村 (古風の所) イン	くージ、残す。保存。
・ 花木を植える。	
・ ゆりどう線	
・ お店などの人の流れ	l.
・田園風景の残るまで	5.
・ 休日に自然を感じ	られる。 -
・ ごみ、吸い殻の少れ	いまち。
・まちの景観に統一原	繋がある。
・色合いの統一化。	
	を感じることができる。
【交通】	
・安心して歩ける広い	\道路。
・道が碁盤の目。	
- 市内どこでも自転車	
・住居の区画にゆとり	Dがある。
・ 電柱のないまち。	
- 自転車で移動がし ⁴	
・ 防災のため平地を	5用するまち。
【商業・活気】	
・ できた施設を残す。	
・米屋、花屋、小店。	
	ぎわい。イズミヤの活用。
・ 休憩場。喫茶店。	
・ 商店街や個人商店	
・商業施設が多く、注	ち気かあるまち。

班	交野がどんなまちになったら良いか
	【親しみ・PR】
	・ 名所づくり。キャッチコピー。
	・ キャッチコピーのあるまち。
	【追加意見】(欠席された方からいただいた意見)
	・ 環境のまち交野を目指す
	・ 農地・空き家の有効活用で交流人口の増大を目指す
	・ 高齢者のスキルを活かした下宿生の募集で、高齢者の安心確保と文化の伝承を目指す
E班	【子ども・住みやすい】
	・ 子どもたちが稲の成長を間近に見れるまち。
	田んぼや畑が残っているまち。
	・ 犯罪のないまち。
	・ 子どもを外で安心して遊ばせられる空間づくり。
	・ 子どもが遊べる。
	・ 市の情報発信力がある。
	・ 継続する仕組み。行政が仕組みをつくりボランティアとの協働で。
	【自然を感じ、自然で活動・観光都市】
	・ 自然の保全、活用するための管理のバランス良く。
	・ 天野川が魅力的になっている。
	・ 四季を感じる街路樹。
	・緑の価値の共感。
	・ 歩いて楽しむ。
	・ 「里づくり講座」などが活発に開かれ、市民の意識が高まっている。
	・ 街路樹の管理のための住民の意識。Ex 落ち葉を厭わない。
	・ 河川(水路)の管理の向上。(自然任せでなく)
	・ 街路樹をきれいに。(自然豊かなイメージアップ)
	・ 星のブランコに行きやすいように。
	・ 電車・バスで行けるアウトドア。
	・ クライミング
	・トレイルラン
	・ ボルダリングジムをつくる。
	・ いきいきランドにボルダリングコーナー。
	・青年の家にもボルダリングコーナー。
	自然が豊かなことが長所なので、キャンプ場とかあればいい。
	アウトドアシティー。(ニッチなイメージ定着(戦略))
	自然を生かしたアクティビティがあるまち。
	・ サイクリングロード(遊輪道)

班	交野がどんなまちになったら良いか
	・ 茶屋がある。
	・ 観光資源の活用。
	・ 自然と遊具がある。大きな公園がある。
	・ アスレチックがある。
	・ 自然環境を生かす資料の充実。(パンフレットなどがたくさん色々)
	【あいさつ・顔が見えるまち・助け合い】
	・ 近所のあいさつがある。
	・ 高齢者と若者の数のバランスがある。
	・ おだやかに暮らせるまち。
	・ 防災について強く行政が発信できるまち。
	【人とのつながり】
	・ ご近所力、近所同士で関わりやすいまち。
	・ 若者から年寄りまで長く住めるまち。
	・ 災害時に助け合えるまち。
	・ 新しく住む人と古くから住んでいる人が歩み寄れるまち。
	【交流】
	・ 奈良県との交流を盛んに。
	・ 交野から生駒、東大阪方面へ公共交通機関があるまち。
	・ 移動手段。買い物の便利さなど。バス便の充実。
	・ 宅配サービス(事業)の充実。
	【文化】
	・ 趣味の交流はある。
	・ 通過点ではなく、目的地になるようなまち。
	・ 出て行かなくてよいまち。
	・ 大型ショッピングモールがある。
	・映画館があるまち。
	・ そこでイベントを開催。
	【便利なまち】
	• 市内無料Wi-Fi整備。
	・ 対向車線をすべての道に。
	・ 生活が交野市内で完結できるまち。

3 今後の予定

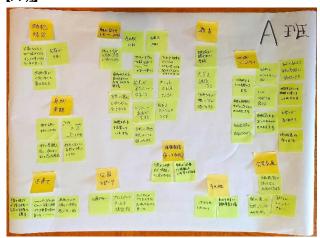
○次回日時:11月20日(土)10:00~12:00、場所:交野市役所別館3階中会議室

テーマ:目指すまちの姿を整理しましょう!

【A班】

+

+



【C班



【E班】



【B班】



【D班】



■第2回市民ワークショップふりかえりシート(参加者アンケート)の結果■

1. 本日のワークショップで発見したことやおもしろかったことをお書きください。

- ・ 星田や倉治・私部など古い町並みが残る所で「街歩き」したくなるコースができるといいなあ と思いついた。「駅を拠点に雰囲気のあるカフェやお土産になる名産品・特産品が買えるお店な どが点々とコース沿いにあって」など、考えていたらわくわくしてきた。皆さんのお話を聞い ていると、思いもかけない視点で思考が広がり楽しい時間だった。
- ・ 自然や観光の目玉になるものがたくさんあるにも関わらず、上手く生かしきれていないと改め て思った。
- ・ お店や建物と違って、自然は後から作れない。交野市にはその自然があるという話が出て、改めて交野の持ち味を実感した。
- ・ 交野の名産や観光スポット等、確認できてよかった。
- ・ 交野の観光マップの活用も、工夫すると効果がありそうと思う。
- ・ 農業の厳しい現実を知った。勉強になった。
- ・ 交野市が(家賃)、枚方より高いと教えてもらったこと。
- ・ 「自然を感じられる大きな公園の中に、世代間で交流できたり、いろいろな困りごとを相談できる場所があったりするような施設があったらなあ」と思う。
- ・ 自治会館の活用について、アイデアが色々あることがわかった。
- · 今ある資源(民間・コミュニティー等)を活かしながらという視点が面白いと思いました。
- マッチングアプリのようなネットを使ったコーディネイトなども若い方からの発想で「なるほど」と思った。
- ・ 他グループの発表のキーワードから着想を得たが、交野市に潜在的に住みたい人を交野市と結びつけるようなマッチングアプリ(サービス)があれば良いなと思った。
- ・ 文化施設、ショッピング等についての意見も多いこと。
- ・ 自転車利用の目線の意見が聞けてよかった。(自転車置き場に困っているとは知らなかった)
- コミュニケーションの多様性も考えていくのが必要だ。
- ・ 行政や団体に頼るのではなく、自主的に行動していくことが大事という意見はすごく良いと思いました。
- ・ 高齢者用のマッチングサービスの発想が面白かった。
- ・ 前回の内容を踏まえ、具体的な政策・施策が挙がった。自分とは異なった意見が多く、とても 勉強になった。
- ・ メンバー全員の交野への思いが熱いと思った。
- ・ 様々な方の意見を知ることが出来てよかった。自分の考えをより具体的にイメージできたり、 違う角度からの意見を聞き、学びになった。
- 思うように意見が出せなかったが、それぞれの立場からの意見が聞けてよかった。

2. 今後のワークショップに期待することをお書きください。

- 活発な意見を交わすこと。
- ・ 色々な方の意見(交野に長く住んでいる人・住んでいない人)もっと聞いていきたい。
- ・ 現実的な政策・施策やイベント等を提案できる場があるといいなと感じた。
- 目指す街の方向性は多種多様なので、上手くまとまって欲しいと思う。
- ・ テーマごとに出た意見がどのように成熟していくか楽しみ。
- ・ 今後具体的になっていくことが実現に向かうこと。
- ・ 自分の頭の整理ができるように更に多くの意見が聞きたい。
- · 引き続き、話しやすい空間の中でワークショップができればと思った。
- 学びが多いワークショップになることを期待している。
- ・ 年齢や立場がある程度ばらけたグループにしていただければ幸いだ。
- 次回からのグループ分けも楽しみだ。
- ・ 今回だけでなく、つながりを長く持つ、工夫をしてほしい。
- 5回だけではなく、また開催してほしい。
- ・ 基本構想にぜひ意見を反映させてほしい。

3. その他のご意見やご感想

- ・ 駅に観光マップを置いてもらうことは、すぐにでも実施する。効果があがりそうだと思う。
- 若い職員さんの参加は大変素晴らしいことだと思うが、女性が少ないと思う。
- 人のつながりや企業のつながりを求めている意見が多いことは驚いた。
- 1回目のグループと同じだったので、話しやすかった。
- とても楽しく色々と教えていただいた。
- ・ 自分とは異なった意見を聞くことができてとても勉強になった。